

事務事業評価表(既存事業)

コード 9-2-1	事務事業名 量水器管理事業	所管部課 水道部工務課
--------------	------------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的 水道使用量を適正に計量するため、計量法に基づき、定期的(8年以内)に量水器(メーター)の取替を行う。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)上下水道の運営(案1-3) (主要施策)上水道の安定供給
	実施内容、実施方法 量水器の交換工事を業者に委託し、8年前に設置した量水器を交換する。	根拠法令等 計量法(平成5年11月1日施行) 計量法施行法 昭和26年法律第208号(廃止)
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 量水器の取替個数	活動指標の考え方(定義) 量水器の年間取替総個数
	成果指標名 取替率	成果指標の考え方(定義) 取替総個数 / 取替予定総個数(%)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		28,570	37,755	46,103	0
	国庫支出金					
	都支出金	千円	28,570	37,755	46,103	
	地方債					
	その他					
	一般財源					
	所要人員(B)	人	1	1	1	1
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,246	8,273	8,328	8,328
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	36,816	46,028	54,431	8,328
	単位当たりコスト (E)=(D)/(取替総個数)	千円	4.23	3.78	3.76	
歳入	千円					
活動指標	目標値	個		12,417	14,819	12,794
	実績値	個	8,706	12,170	14,467	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	%			100	100
	実績値	%	97.9	98.0	97.6	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	各市同様の委託工事を行っている。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし。

コード 9-2-1	事務事業名 量水器管理事業	所管部課 水道部工務課
--------------	------------------	----------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	計量法に基づく量水器交換工事のため対象者の同意が得やすく、予定交換数量を概ね達成している。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	量水器の取替は適正な料金徴収を行うために、計量法に基づき実施しなければならない業務である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	メーター設置場所が宅地内のため、施工日の調整に時間を要することがある。工事の委託先は入札により選定しており、また、単価契約により適正な経費支出を行っている。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	量水器は都水道局から貸与されているものであり、計量法で定められた期間内に無料で全て交換している。また、取替対象者には個別に通知し、施行日時や作業方法などの打合せを行った上で工事を実施している。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	取替率の向上と1件当たりのコスト削減を図りながら、引き続き実施する。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	
--------	--	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象者に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。